

オリエンテーション

ねらい

中堅教諭等資質向上研修第Ⅱ期の目的や内容についての説明を通して、本研修の意義、概要及び研修内容について理解し、課題意識や見通しをもって研修に取り組むことができるようにする。

内容

- 1 ねらい及び日程の確認
- 2 自己診断シートについて
- 3 諸連絡

1 ねらい及び日程の確認

○ 中堅教諭等資質向上研修の目的

中堅教諭として必要な資質能力の育成・向上が図られるよう、講義や協議、演習等を通じて、中核的な役割を果たすことが期待される教諭等としての職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を行うことを目的とする。

1 ねらい及び日程の確認

○ 本日の内容

時間	コマ名	育成を目指す資質能力
13:15～16:15	<u>主体的・対話的で深い学び の実現に向けた授業改善</u>	○授業力 ○今日的な教育課題への対応力 ○ＩＣＴや情報・教育データを利活用する力
16:15～16:30	研修成果の確認	○主体的に学び続ける姿勢

2 自己診断シート

入力シート		令和5年度「北海道における教員育成指標」自己診断シート【初任段階編】	
学校名：		氏名：	初任段階教員研修：（ ）年目
求める 教員像	キーとなる資質能力	自己診断項目（期待される具体の姿）	4：できている 3：できている 2：あまりできていない 1：できていない 前期 後期 2023/4/7 2023/11/27
教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員	教育的愛情	子どもへの愛情に基づき、一人一人の個性を尊重し、よき可能性、成長の余地などに目を向け、伸ばしている。	3
	使命感や責任感・倫理観	子どもの育ちと学びに責任をもち、教育公務員に係る法令等を遵守するとともに、時代に応じた教育、学校（園）の社会的役割・服務等を理解し、職務上の義務を果たしている。	2
	総合的人間力	上司や同僚、保護者との関わりの中で、人間性、社会性、協調性を高めている。	2
	教職に対する強い情熱・人権意識	人権意識に基づき、地域の行事や社会教育活動、学校（園）の教育活動において、全ての子どもを尊重するとともに、教職への誇りを有している。	1
	主体的に学び続ける姿勢	初任段階教員研修等や情報の収集・選択・活用を通して、実践的指導力など、初任段階に求められる資質能力を身に付けるため、学び続けようとしている。	1
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員	教科等（保育）や教職に関する専門的な知識・技能	教職の意義や教員の役割、職務内容に関する知識・技能を身に付け、職務に生かしている。 教科等（保育）の内容に関する専門的な知識・技能を身に付け、授業（保育）に生かしている。 自らの課題解決に向け、自律的に研修を進めている。	2
	授業力	学習者中心の授業の創造に向け、深い学びにつながる教材研究や学習過程の検討を同僚と協働して行い、ねらいを明確にした指導計画を作成し、子どもの学習状況を捉えて意図的・計画的に授業（保育）を展開している。	3
	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」への対応力	「主体的・対話的で深い学び」が求められる背景や重要性について理解し、授業（保育）改善に取り組んでいる。	4
	「カリキュラム・マネジメント」への対応力	「カリキュラム・マネジメント」が求められる背景や重要性について理解し、教育活動の不断の改善・改善に生かしている。	2
	「道徳教育の充実」への対応力	「道徳教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、学校（園）教育活動全体を通じて道徳教育を実践している。	1
	「外国語教育・国際理解教育の充実」への対応力	「外国語教育・国際理解教育の充実」が求められる背景や重要性について理解し、実践に生かしている。	1
	子ども理解力	子どもの心身の発達の特徴や特徴、子ども一人一人のよき可能性、成長の余地をはじめ、家庭環境などを理解して子どもと向き合っている。	2
	生徒指導・進路指導力	子どもの発するサインを見逃さずことなく予防的な対応を行い、個々の悩みや思いを共感的に受け止めるなど、学校（園）生活への適応や人格の成長への援助を行っている。 子どもの個性や能力の伸長と健全な心身の育成を通して、子どもの自己実現を図る指導を行っている。	2
	学級経営力	子ども理解に基づきながら、子どもたちとの信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、学習の場をつくる学級経営を計画的に行い、よりよい学びの環境をつくらせている。	3
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応力	特別支援教育の動向や特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性を理解し、教育的ニーズ等に適切に対応している。 組織的な対応に必要な知識・具体的な支援内容・体制を理解し、学習上、生活上の支援を工夫している。	2
学校づくりを担う一員としての自覚と協調性で、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	ICTや情報・教育データを活用する力	授業や校（園）務等でICTを効果的に活用するとともに、子どもの学習の改善を図るため、教育データを適切に活用している。 子どもの情報活用能力（情報モラル・情報セキュリティを含む）を育成するための授業実践等を行っている。	2
	学校（園）づくりを担う一員としての自覚と協調性	教育公務員として、社会と協働して職務を円滑に遂行する上で必要となる職業観や人間関係のほかに、公共心や社会意識などの重要性を理解し、それに基づき行動している。	1
	コミュニケーション能力（対人関係能力を含む）	自らの考えや学校（園）の方針等を子どもや保護者等に分かりやすく伝えようと伝えている。相手の意図を正確に理解し、円滑に意思疎通を行い、良好な人間関係を構築している。 自らの職務の充実に向け、上司や同僚などに相談や質問等を積極的に行っている。	2
	組織的・協働的な課題対応・解決能力	自らの学びと実践の省察をし、組織の一員としての自覚をもって、学校（園）づくりに関わり、求められる役割を果たしている。 生命・心身を脅かす事故災害等、危機管理の知識や視点をもつことの重要性を理解している。	1
	地域等との連携・協働力	子どもの家庭及び地域社会の状況や自身や学校（園）の強み・弱みの理解に基づき、保護者や地域等との連携の重要性を理解し、積極的に関わり、連携・協働して対応している。	3
人材育成に貢献する力	他の教職員との関わりを大切にし、疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、互いに高め合おうとしている。	1	

自己診断シートは、
自分自身の教員としての

- ・ 内面的な素養
- ・ 実践的な指導力や専門性
- ・ 連携・協働する力

などをセルフチェックできます。



①項目ごとに自己評価できます

A：できている
B：おおむねできている
C：あまりできていない
D：できていない

2 自己診断シート

前期 令和5年度「北海道における教員育成指標」自己診断シート【初任段階編】

自己診断レーダーチャート

連携・協働

素養

専門性

4:できている
3:おおむねできている
2:あまりできていない
1:できていない

【自己診断結果の分析】※自己診断結果と実践の振り返りを照らし、自身の強みと弱み、その要因を分析。

強み

- ・(例) 実践的指導力について、できている項目が多いため、今後も伸ばしていきたい。
- ・(例) 日常的に、道徳教育の充実に向けて道徳科の授業改善に取り組んでいることや、ICTを活用した指導について、道研の研修講座に参加して研修を深めた成果が見られる。

弱み

- ・(例) 地域等との連携・協働力について、できていない項目が多いため、連携・協働に向けた資質・能力を高める必要がある。
- ・(例) 地域等との連携や人材育成について、日常的にあまり意識して業務に取り組んでいないことがあるため、課題が見られる。保護者や地域との連携促進に向けた方策について研修を深めたい。

【校長との面談記録】※校長との面談において受けた助言等を記録

- ・(例) ○月○日 (○) ○:○~○:○ △△校長からの助言
- ・日常的に、道徳科の授業改善に向けて発問や問い返し工夫をしている点は評価できる。今後は、校内のベテラン教員の道徳科の授業を観察する機会をもつなど、更なる改善のポイントについて研修を深めてほしい。
- ・地域等との連携について、総合的な学習の時間における外部人材の有効活用視点をもつなど、教育課程の工夫改善に向けた取組を進めてほしい。保護者との連携については、～

【今後、向上を目指す資質・能力】※自己診断結果と実践の振り返りを照らし、向上を目指す資質・能力(専門性)を記す。

向上を目指す資質・能力	自己研鑽の方法
使命感や責任感・倫理観	研修講座の受講
教科等(保育)や教職に関する専門的な知識・技能	書籍等
主体的に学び続ける姿勢	校内研修

②セルフチェックの結果がレーダーチャートで表示されます。

③レーダーチャートを見ながら、自分の「強み」「弱み」を分析できます。

④管理職等からのアドバイスを記録できます。

⑤自己研鑽や研修受講のテーマを考えることができます。

3 諸連絡

- 研修中に不明な点がある場合は運営者にチャット等で質問してください。
- 研修中の写真撮影、録画及び録音は、著作権等の観点により御遠慮ください。
- 携帯電話は電源を切るかマナーモードにしてください。
- 通信環境によって、映像や音声が途切れることがありますので、御了承ください。
- 開始時刻にやむを得ず遅れたり、体調不良等により途中退席したりする場合や緊急の連絡等がある場合は、当センター（011-612-6328）まで連絡してください。